

令和2年度入学 AO入試 第2次選考
口頭試問 (価値創造デザイン学類) 講評

機能性表示食品制度を活用した地域での生活習慣病予防の取り組みと機能性表示食品の一例としてフルティカの特徴と活用例を題材としている。資料として与えられた文章や表を正しく読み取り理解する能力があるのかを問うたものである。文章を読みながら、与えられた情報を整理することができる思考能力、高校等で身につけておいてほしい知識、表を読み取る洞察力と理解力を総合的にみることを目的としている。

問1

【出題のねらい】

与えられた文章から情報を適切に読み取る力をみることをねらった。

問2

【出題のねらい】

資料の文脈を参考にしながら、比較的平易な英単語を使った英文について、短時間で理解し和訳する力をみることをねらった。

問3

【出題のねらい】

二つの数字を比較する際に重要となる単位（本問題に関しては重量）をそろえるための方法を論理的に考えて計算式を作成し、結果を導く能力をみることをねらった。

問4

【出題のねらい】

「数学 I」の「データの分析」から、ヒストグラムと度数分布表の読み方に関して、基礎的な知識が習得され、活用できる能力を確認することをねらった。

問5

【出題のねらい】

「数学 I」の「数と式」から、関数に与えられた情報から適切な数字を代入して、その結果を計算できる能力を確認することをねらった。

問 6

【出題のねらい】

「数学 I」の「データの分析」から、相関係数についてその意味と、散布図との関連についての知識を確認することをねらった。

【講評】

問 1, 問 4, 問 5, 問 6 の解答状況は良好であった。

問 2 の英語の問題は、完全な正答は 6 割弱であった。使用している英単語は決して難解なものではなかったが、短時間で解答することがやや難しかったようである。しかし、英語でやり取りする上では、瞬発的な力も必要となる。確実な語彙力を身につけておいてほしい。

問 3 の数学の問題について、正答率は 4 割程度だった。計算式を作ることができればその計算は単純なため、不正解のほとんどは計算式を作成できなかったものである。与えられた条件から必要な情報を抜き出し、どのように計算すれば良いかを考える能力を身につけることが望ましい。